

アール・ブリュット作品がさりげなくあるまち づくりモデル事業

アール・ブリュットとは、正規の美術教育と全く無縁の文脈によって制作された芸術作品を指し、ジャン・デュビュッフェによって提唱された言葉です。

2010年にパリで開催された「アール・ブリュットジャポネ」展が国内外問わず大変高い評価を受けました。

この展覧会には、社会福祉法人オープンスペースれがーとに通所されている湖南省在住の方の絵も出品されていました。

アール・ブリュット作品を制作する作家の多くに障がいがありますが、多くの人が展覧会を通じて作品に触れることにより、障がいのある人への理解を促すきっかけとなるように、NPO法人はれたりくもったり（湖南省若竹 1-6）が展覧会を実施しておられます。

湖南省では、この「生（き）の芸術」と称されるアール・ブリュット作品の持つ力をより身近な場所で、多くの人々の元へ作品が発する生のエネルギーを届けたいと考え、社会福祉法人オープンスペースれがーとが管理する絵画約 200点を、公共機関や民間会社にリースする事業を支援することとしました。

この事業は、「社会福祉法人オープンスペースれがーと」が、公共機関ならびに民間企業に、アール・ブリュット絵画作品 1点を月額 1,000円、年額 12,000円で（作品の交換を含む）リースを行うもので、モデル事業として、民間企業への1～3月分リース費用は、市が無償で行います。

